

科目ナンバー	ARS-3-009-k			科目名	イスラームの歴史と社会		
教員名	岡井 宏文			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本科目では、現代におけるイスラーム世界の生活文化を取り扱います。 現在、世界のムスリム人口は16億人を数えます。キリスト教徒に次ぐ世界宗教ですが、欧米や日本におけるイスラームやムスリムを巡るイメージは、メディアの影響などもあり必ずしも肯定的とは言えない状況にあるといえます。例えば欧米ではイスラームに対する偏見やイスラモフォビア(イスラーム恐怖症)の克服が課題となっています。この必ずしも肯定的とはいえないイメージは、はたしてイスラームやムスリムの実像なのでしょうか。本科目では、15回の授業を通してこの問いを検証することを目指します。 具体的には、宗教学・歴史学・人類学・社会学といった諸分野の知見をもとに、イスラーム世界の歴史的広がりや日本との関係、現代日本におけるムスリムコミュニティ、日本や欧米のムスリムの装いや表現を通じた宗教実践のあり方等を読み解いていきます。三つめのトピックについては、外部講師をお呼びして実践的に考えていくことを予定しています。これらを通じて、既存のイメージの先にある多様性への認識を深めるとともに、ムスリムと周辺社会との関係性を捉え直し、共生への視座を獲得することを目指します。						
到達目標	この授業で身につけてもらいたいと考えている事柄は次の通りです。①イスラームについて、宗教学・歴史学などの視座から理解する。②イスラーム世界における生活文化や宗教実践のあり方を理解する。③生活文化や宗教実践のあり方について、当事者の意識を元に理解する。④イスラームやムスリムに関する既存の言説を批判的に検討しつつ、自らの意見を表明することが出来る。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	①パワーポイントや各種資料をもちいた講義形式の授業に加えて、履修者数によっては②配布資料や映像資料を活用したグループワークなどのアクティブラーニングや実習を取り入れる予定です。イスラームに関する宗教学・歴史学・生活文化・宗教実践に関する基礎的な知識を習得するとともに、当事者の意識についても理解を深めます。これらを材料として、教員や受講者同士での議論を行い、現代社会におけるムスリムと周辺社会との関係性について多角的に考察を行います。毎回授業のはじめに前回の内容の復習と質問への応答を行います。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	「イスラーム入門」を受講済であることが望ましいですが、特に定めません。議論や課題など授業に積極的に取り組んでください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績評価は、次の配分にて行います。 授業への参加態度：出席状況、授業での発言、グループディスカッションなどへの参加度・貢献度、課題の提出状況(50%) 期末課題：期末レポートの提出(50%) 以上から、総合的に評価します。						
教材	毎回資料(レジュメないしスライド)を配布します。予習復習のための資料を適宜提示します。						
参考図書	後藤絵美『神のためにまとうヴェール - 現代エジプトの女性とイスラーム』中央公論新社、 野中葉『インドネシアのムスリムファッション-なぜイスラームの女性たちのヴェールはカラフルになったのか』福村出版、2015年。 堀井聡江『イスラーム法通史』山川出版社、2004。 阿良田麻里子編『文化を食べる文化を飲む』ドメス出版、2017年。 小杉泰ほか『大学生／社会人のためのイスラーム講座』ナカニシヤ出版、2018。 高橋典史ほか編2018『現代日本の宗教と多文化共生』、明石書店。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	イントロダクション：イスラーム世界と私たち 上記に加え、授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。						
	講義の最後に課題を提示します。						

授業外学修内容	次回の授業内容に関する資料を読み込み、関連記事の検索を行う。検索した記事は次回の授業に持参すること。	時間数	2
2週目			
授業学修内容	私たちとイスラーム		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
3週目			
授業学修内容	関係を通る:イスラーム世界の広がりと文物の交流		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	イスラーム世界と日本1:繋がりを紐解く		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	イスラーム世界と日本2:日本初のメッカ巡礼		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	イスラーム世界と日本3:巡礼のアナザーサイド		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	イスラーム世界と日本4:イブラヒムの時代とその後		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	イスラーム世界と日本5:新しい波(1980年代～現在)		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	ムスリムコミュニティと日本社会		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	ムスリムコミュニティと「多文化共生」1:宗教と移民支援から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	ムスリムコミュニティと「多文化共生」2:地域と社会支援から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
12週目			

授業学修内容	イスラームとファッション1:地域性から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	イスラームとファッション2:モデストファッションから考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	イスラームとアート:美、感性から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	全体振り返り		
授業外学修内容	授業の内容を復習し、資料および関連図書を読み込みながら、自らの考えをまとめ。	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		32	
その他に必要な自習時間		58	

Number	ARS-3-009-k	Subject	Islamic Culture and Society		
Name	岡井 宏文 (Okai Hirofumi)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This course will study the lifestyle and culture in today's Islamic world. There are 1.6 billion Muslims today, making up a quarter of the world population. Despite it being a major world religion second only to Christianity, images and perceptions that surround Islam and Muslims are not necessarily positive. This is true whether it be in the West or in Japan, due to influence from media coverage and others. Overcoming prejudice towards Islam and Islamophobia is now a pressing issue in the West. Are these negative perceptions accurate in describing the realities of Islam and Muslims? This question will be explored over the course of 15 classes. Not only will students study perspectives from sciences of religion and history, but will also learn through lived experiences of Muslims themselves, in order to better understand what religious practices mean to them in Japan, in the West and in other Islamic societies. Students are expected to acquire a perspective for coexistence by deepening their understanding of diversity beyond present perceptions, and also re-thinking relations between Muslims and their wider society.</p>				